日本医史学雑誌三十九巻総目次

特別寄稿

二〇世紀末におけるヒポクラテス医学と哲学
……スヒロス・マルケトス　訳・深瀬泰旦…四六三～四七六

原　著

坪井芳洲筆島津斉彬容体書について　…泉　彪之助…一三三～一五六
漢方医学における大腸と小腸の再検討
……遠藤　次郎・中村　輝子…一五七～一六六
御雇教師シュルツェの「外科通論」
―明治期教科書使用状況一斑―……小関　恒雄…一六九～一七八
『耳嚢』に記録された民間療法……浜田　善利…一七九～二一六
第八師団歩兵第五連隊の雪中行軍の医学的考察…新発見の史料による山口少佐の死因の再検討　…　松木　明知…二九一～三一三
幕府医官細川桃庵の事蹟…関　信之・小曽戸　洋…三一五～三三三
痰の起源（一）―漢訳仏典にみられる痰の検討―
…遠藤次郎・中村輝子・八巻英彦・宮本浩和…三三三～三四五
京都府立「癲狂院」の設立とその経緯　…小野　尚香…四七七～五〇〇
朝倉氏遺跡出土の「湯液本草」……真柳　誠…五〇一～五三三
明治期の陸軍看護システム……黒澤　嘉幸…五三三～五四二
痰の起源（二）―梁以前の医書にみられる「痰」の検討―
…遠藤次郎・中村輝子・八巻英彦・宮本浩和…五四三～五五三

研究ノート

精神外科の隆盛と衰微……藤倉　一郎…二一七～二三三
ドイツ医学の採用に関する三つの疑問をめぐって
……森川　潤…三四七～三五九

広　場

杉田玄白の絶筆と河口信順……川島　恂二…三三三～三三五
ハーバード大学イェンチン図書館の医学関係の和漢医籍……津谷喜一郎…三三七～三四三
シーボルトとペッテンコーフェルの墓　……泉　彪之助…三六一～三六七
医学史研究の臨床医学への応用……松木　明知…五五五～五七一

追　悼

三木栄先生をお訪ねして……長門谷洋治…二四五～二五〇
三木栄先生の御逝去を悼みて……蒲原　宏…二五一～二五四
弔　辞……宗田　一…二五五～二五六
三木栄先生を偲ぶ……大塚　恭男…二五七～二五八
三木栄先生略歴……長門谷洋治…二五九～二六〇
安井広先生の御逝去を悼む……津田　進三…二六一～二六二

資　料

池田文書の研究（九）……池田文書研究会…三六九～三七八
医学資料展（秋田県医師会主催）　…石田　秀一…三七九～三八七
「藤林普山とその子孫、門人録」補遺　……森　納…三八八
和刻漢籍医書総合年表
……―出版者名索引　……小曽戸　洋…五七三～五九四

記　事

消　息

「第一回国際中国医学史会議」に出席して …吉元　昭治…二六五
日本医史学会神奈川地方会発会総会 ……杉田　暉道…二六六
神農祭（第40回）挙行 ……小曽戸　洋…二六七
美濃大垣の名医・北尾春圃顕彰碑除幕式 ……土屋伊磋雄…二六七
藤浪剛一先生没後五十年祭の報告 ……大村　敏郎…二八九
湯島聖堂創建三百年事業完成記念会 ……蒲原　宏…二九〇
「処士独嘯庵墓」再建について ……岡村　芳樹…二九〇
日本医史学会関西支部一九九三年春季大会ほか …長門谷洋治…二九二
北海道医史学研究会設立総会 ……島田　保久…二九五
「高松宮記念ハンセン病資料館」の開設 ……成田　稔…二九五

例会抄録

ヴィデオ「呉秀三―狂気の立ち会い人」 ……岡田　靖雄…二六八
長山泰政―戦前に院外治療を提唱した精神科医― ……岡田　靖雄…二九三
金沢貞顕文書の医史学的研究 ……樋口誠太郎…二九四
明治初年の私立医学校「済生学舎・慶應義塾医学所・成医会講習所」について ……唐沢　信安…二九六
中世ヨーロッパの思想 Six non naturals とナイチンゲールの看護思想について ……平尾真知子…五九六
中国伝統医学の蔵府を考える―肝と肝臓 Liver ……宮川　浩也…五九七
森鷗外と医学留学生たち ……山崎　光夫…五九八

紹　介

鈴木昶著『江戸の妙薬』 ……多留　淳文…二六九
リチャード・ゴードン著、倉俣トーマス旭・小林武夫訳『世界病気博物誌』 ……山本　修三…二七〇
杉立義一著『京の医史跡探訪増補版』 ……矢数　道明…二七一
君塚美恵子編『紀州藩医泰淵の日記』 ……香取　俊光…二七三
諫早医師会編『諫早医史一九九〇年』 ……山之内外一…二七四
小曽戸洋・真柳誠編・解説『和刻漢籍医書集成』 …宗田　一…二七六
北小路弘史著『開業医ブルース医家二十一代のつぶやき』 ……杉立　義一…二七七
小関恒雄・北村智明訳編『クニッピングの明治日本回想記』 ……高安　伸子…二七八
北里研究所附属東洋医学総合研究所刊、医史学文献研究室編『小品方・黄帝内経明堂古鈔本残巻』 ……猪飼　祥夫…二八〇
コンスタンス・ジョエル著・内村瑠美子訳『医の神の娘たち―語られなかった女医の系譜』 ……三﨑　裕子…二八一
Takeo NAGAYO: History of Japanese Medicine in the Edo Era ……ヴォルフガング・ミヒェル…二九七
萬年甫・岩田誠編訳『神経学の源流3　ブロカ』古川　哲雄…二九九
和田耕作著『安藤昌益と三浦梅園』 ……吉元　昭治…四〇〇
高崎斐子他編『明治天皇の侍医　池田謙斎』…岩崎　鐵志…四〇三
山本厚子著『野口英世　知られざる軌跡』 …石原　理年…四〇四
福島義一著『聞き書き・医者のみた阿波史・新阿波医人伝』 ……片岡　義雄…六〇〇
三浦豊彦著『労働と健康の歴史』（第七巻） …保坂　捷子…六〇一
シャーウィン・B・ヌーランド著、曽田能宗訳『医学をきずいた人びと』上下二巻 ……大滝　紀雄…六〇三
新村拓著『ホスピスと老人介護の歴史』 ……杉田　暉道…六〇四
石田純郎編著『緒方洪庵の蘭学』 ……津田　進三…六〇六
小高健著『伝染病研究所』 ……高橋　勝三…六〇七

トーマス・マーキュン著、酒井シヅ・田中靖夫訳
『病気の起源』……網野　豊…六〇八
吉田直哉著『伝・吉田富三　癌細胞はこう語った』
……梶田　昭…六〇九
小竹英夫著『柏倉忠粛とその周辺』……渡辺左武郎…六一〇

第九四回日本医史学会総会演題目次

会長講演
概説・日本における臨床検査機器発達史
―人間と機械のはざまで―……寺畑　喜朔…一
シンポジウム（一）
蘭医長崎浩斎生誕一九五年を記念して
長崎浩斎―人と業績……津田　進三…八
大槻玄沢と長崎浩斎
―蘭学、その江戸と北陸―……片桐　一男…二
長崎家収蔵の『方意便蒙』について
―越中高岡神農講の記録―……正橋　剛二…三
シンポジウム（二）
医学教育における医史学のあり方と使命
医学史教育を模索して……蔵方　宏昌…一四
医学愛好家を育てるために……大村　敏郎…一六
医学教育における医史学の現状と
将来のあり方……松木　明知…一九
ヨーロッパの医史学教育……石田　純郎…二
一般口演
1　中国医学と道教（XII『紅楼夢』から）……吉元　昭治…二三
2　中国の古典医書にみられる医者の身分と
治療について……山本　徳子…二五
3　三巻本『本草集注』と出土史料……真柳　誠…二六
4　『活幼口議』の著者について
……王　鉄策・真柳　誠・小曽戸洋…二八
5　仏典と『スシュルタ本集』にみられる看護
……杉田　暉道…三〇
6　和丹両流の家格について……奥富　敬之…三二
7　半井本『医心方』の病名仮名訓……岩井　佑泉…三四
8　『玉葉』に表れる口歯の医療について……戸出　一郎…三六
9　初代曲直瀬道三とらい遺伝説について…横田　則子…三八
10　日本における臍風の記載について…広田　曄子…四〇
11　南北朝の医家徐氏の系譜……猪飼　祥夫…四二
12　江戸時代按摩手技の文献的考察
……鈴木英征・青木隆明・戸野吉浩・原田和江・
広門靖正・濱田淳・長尾栄一…四四
13　徳川綱吉の行った医官に対する勤務評定
……中西　淳朗…四六
14　『紅夷流道具集解総図式』成立への
スクルテタスの外科書とパレ外科全集の影響……蒲原　宏…四八
15　Nils Rosén von Rosenstein と Johann Andreas
Murray―一冊の小児科書をめぐって……深瀬　泰旦…五一
16　華岡門難波抱節らの蒙汗薬（麻薬）の使用について
……中山　沃…五三